

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成26年10月30日(2014.10.30)

【公開番号】特開2012-68013(P2012-68013A)

【公開日】平成24年4月5日(2012.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-014

【出願番号】特願2011-198920(P2011-198920)

【国際特許分類】

F 2 3 R 3/16 (2006.01)

F 2 3 R 3/28 (2006.01)

F 2 3 R 3/32 (2006.01)

【F I】

F 2 3 R	3/16	
F 2 3 R	3/28	D
F 2 3 R	3/32	

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月12日(2014.9.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 端部カバー(22)と、

(b) 上記端部カバー(22)の下流に配置された燃焼チャンバ(28)と、

(c) 上記端部カバー(22)内に半径方向に配置された複数のノズル(24)と、

(d) 複数の伸縮式シュラウド(36)であって、各伸縮式シュラウドが上記ノズル(24)を囲んでいて、ターンダウン作動時に上記ノズル(24)から下流方向に上記燃焼チャンバ(28)内に延び、ベース負荷作動時に上記端部カバー(22)内に後退する複数の伸縮式シュラウド(36)と

を備える燃焼器(14)であって、上記シュラウド(36)が内壁表面(38)及び外壁表面(40)を含む、燃焼器(14)。

【請求項2】

各伸縮式シュラウド(36)が前記ノズル(24)から下流方向に少なくとも5インチほど前記燃焼チャンバ(28)内に延在する、請求項1記載の燃焼器(14)。

【請求項3】

前記内壁表面(38)又は外壁表面(40)の少なくとも1つを貫通する複数のアパチャ(44)をさらに含む、請求項1又は請求項2記載の燃焼器(14)。

【請求項4】

各伸縮式シュラウド(36)が前記内壁表面(38)及び外壁表面(40)間に空洞(42)を含む、請求項1乃至請求項3のいずれか1項記載の燃焼器(14)。

【請求項5】

各伸縮式シュラウド(36)が前記端部カバー(22)に固定される、請求項1乃至請求項4のいずれか1項記載の燃焼器(14)。

【請求項6】

各伸縮式シュラウド(36)を伸展及び後退させるための手段をさらに含む、請求項1乃至請求項5のいずれか1項記載の燃焼器(14)。

【請求項 7】

(i) 壓縮機 (1 2) と、

(i i) 上記圧縮機の下流に設けられた請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項記載の燃焼器 (1 4) と、

(i i i) 上記燃焼器の下流のタービン (1 6) と
を備えるガスター・ビン (1 0) 。